

平成18年3月分および平成17年度 徳島県の販売電力量について

需要の概要

【3月分】

平成18年3月の販売電力量は、5億4千2百万ワット時、前年比99.7%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、前年比100.8%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は堅調に推移し、前年比105.9%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、機械などが前年を上回ったものの、鉄鋼の減などから、前年比96.4%となった。

【平成17年度累計】

平成17年度の販売電力量は、64億2千1百万ワット時、前年比102.9%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、12月が記録の寒さとなったことなどから、前年比103.0%となった。

〔平成17年12月の徳島市の平均気温は5.4℃。これは、1891年の統計開始以来、12月としては3番目の寒さ。〕

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の気温要因に加え、自家発電止などから前年比104.4%となった。

産業用の「大口電力」は、機械、紙・パルプ、鉄鋼における生産増などから、前年比103.8%となった。

需要実績

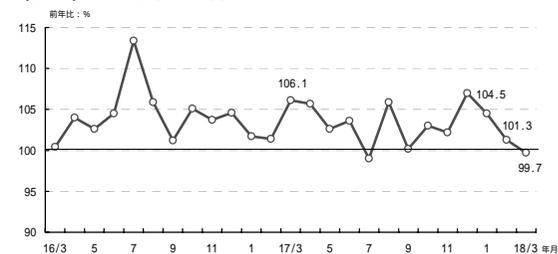
		当月分		17年度	
		電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	172	100.8	1,954	103.0
	電 力	38	95.4	483	98.4
	計	210	99.7	2,437	102.1
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	99	105.9	1,206	104.4
	産業用電力	233	97.2	2,778	102.9
	うち大口電力	(192)	(96.4)	(2,286)	(103.8)
計		332	99.6	3,984	103.4
販売電力量計		542	99.7	6,421	102.9

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。特定規模需要以外の需要とは、電灯や低圧電力など低圧で電力を供給している需要で、非自由化対象となる。
2. 17年4月から自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
なお、変更のあった需要区分の前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせることで算定した。

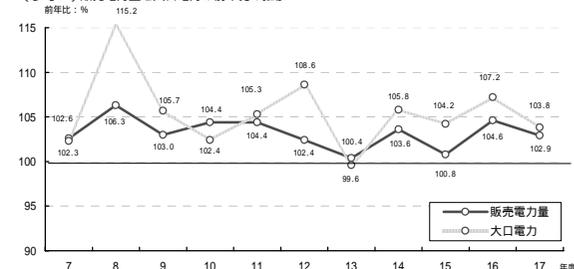
大口電力の主な産業別内訳

	当月分				年度			
	電力量	前年比			電力量	前年比		
		18/3月	18/2月	18/1月		17年度	16年度	15年度
紙・パルプ	21	112.4	108.5	113.5	244	111.9	103.3	95.7
化 学	55	101.3	97.0	94.3	634	99.7	107.4	107.0
鉄 鋼	39	75.9	94.3	82.9	501	104.2	109.4	107.8
機 械	44	105.1	106.7	108.1	509	108.2	113.7	107.1
そ の 他	33	99.7	98.5	98.4	398	100.3	102.1	104.0
合 計	192	96.4	99.8	96.2	2,286	103.8	107.2	104.2

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 販売電力量と大口電力の前年比の推移



(参考3) 徳島市平均気温

	18/2月				18/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績	5.1	6.8	8.3	6.6	8.0	8.8	11.1	9.4
平年差	0.3	0.3	1.9	0.5	0.2	0.3	0.6	0.2
前年差	0.3	0.3	2.3	0.6	1.3	2.8	0.4	0.6

(参考4) 17年度夏季・冬季の徳島市平均気温

	夏季				冬季			
	7月	8月	9月	平均	1月	2月	3月	平均
実績	26.7	27.9	25.6	26.7	5.8	6.6	9.4	7.3
平年差	0.4	0.5	1.7	0.8	0.4	0.5	0.2	0.3
前年差	1.9	0.6	0.3	1.2	0.4	0.6	0.6	0.4